

# 1億円産地を目指して！

## えんだまの令和6年度実績報告！



令和6年の「えんだま」の産地化の推進状況を紹介します！

### ○ 栽培実績、販売実績報告

前年（令和5年）は異常高温により厳しい環境での栽培となりましたが、令和6年は、食味に定評のある新潟系14号（早生品種）の種子不良や天候不順による晩酌茶豆5号（中晩生品種）の子実の肥大不足が全体的にみられ、悩まされました。

これに対し「えんだま」は、晩酌茶豆5号の子実肥大不足は避けられなかったものの、早生品種では品種の切替えに踏み込んだことで、他産地に比べ突出した高単収を確保。結果、総収穫量は前年から減少しましたが、製品率、販売高は増加しました。JA主導で緻密な作付計画を作成し、生産者が協力して出荷リレーをつなぐ「えんだま」の強みが生きました。



▲ 肥大停止した子実

このほか、令和6年は猿害や育苗失敗により約1haで収量減や収穫皆無が生じたことが課題として残りましたが、これらの対策により、次年度は更なる出荷量の増加を目指しています。

生産者数は前年から減少しましたが、新たに京ヶ瀬地区での生産者が2名増え、面積も増加。「えんだま」の産地化は順調に進んでいます！

栽培面積：21,88ha（前年比 +92a）

生産者数：39人（前年比 -2人）

総収穫量：74,757kg、製品率81.8%（前年78,383kg、製品率77.2%）

販売高（税込）：49,588千円（前年比 +4,398千円）



▲ 収穫の様子

### ○ 関係機関の取組

#### ・新発田農業普及指導センター

「えんだま」は、食味に関して市場や首都圏の出荷先から高評価を得ていますが、お客さんに手に取ってもらうには見た目の良さも重要です。えだまめの場合、さやの色が濃いと美味しそうに見えます。

そこで、普及指導センターでは「えんだま」栽培の技術指導に加え、令和6年は「えんだま」のさや色に関する実態把握とさや色向上に向けた実証（施肥体系の検討など）を行いました。

さや色の差は品種や生産者によって異なることが分かり、得られた結果と考察は、12月に開かれた栽培反省会・次年度検討会で生産者に共有されました。次年度以降、さらに詳細な検討が行われる予定です。

#### ・阿賀野市

阿賀野市は、JA新潟かがやきと「えんだま」の振興について協定を結び、「えんだま産地化推進事業」に取り組んでいます。その内の1つとして「えんだま」の食味分析を令和4年度から行っており、品種・栽培方法による食味の違いや、有機質肥料（酒かす）の施用が食味に与える影響などについて調査しています。

令和5、6年の調査では、県内の代表産地の枝豆と「えんだま」の食味成分の比較※において、「えんだま」の値が上回ったものが見られました。出荷先から高評価を得ているのも納得できます。

※糖、アミノ酸含有量の比較。比較検体の収穫日は±1日。限定的な状況下での比較のため、統計的な有意差が認められたものではありません。

★JA・農林課・普及センターでは、さまざまな品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。ご興味がある方は下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】 ○JA新潟かがやき あがのアグリセンター（樋口・中島） TEL62-2235  
○JA新潟かがやき ささかみアグリセンター（石山） TEL25-7252  
○阿賀野市農林課農林振興係（直通） TEL61-2478  
○新発田農業普及指導センター（野菜） TEL0254-26-9126  
○新発田農業普及指導センター（花・果樹） TEL0254-26-9155

# 盆花 ご自分で栽培してみませんか？

今年も、お盆のお墓参りに必要な盆花の栽培講習会を開催します！

新発田農業普及指導センターの花き担当者を講師として、種まきの時期や栽培のポイントを教えていただきます。

昨年講習会に参加した方のアスターの栽培実績を下記で紹介していますので、興味のある方はお気軽にご参加ください！

## 開催案内

開催日時：令和7年3月12日（水）13時30分から1時間程度

開催場所：JA新潟かがやき あがのアグリセンター 2階

指導会内容：アスター・ケイトウ・ひまわり等の  
種まきの時期、育苗から栽培期間のポイント

対象者：・初めて栽培される方  
・栽培経験1～3年の方  
・今後販売を検討している方 など

申込先：あがのアグリセンター（0250 - 62 - 2235）



## ある参加者の昨年実績

品目：アスター 品種：マイクロアスター（半八重のかわいらしい小輪）

播種：4月10日 定植：5月15日 収穫開始：7月29日～

### ○栽培した結果

- ・天候によって収穫時期がずれることがあるため、お盆に合わせて収穫できるよう、多めに栽培した。
- ・草丈は30～40cmと短いものが多かったが、花姿の品質は良くできた。
- ・倒伏防止にフラワーネットを使用したおかげで、草姿の曲がりがなかった。
- ・定植したものの全体のうち、6～7割が製品レベルの出来になった。
- ・自宅で使用するにはたくさん収穫できたので、JAを通じて直売所で1束約300円で販売してもらった。

### ○次年度に向けて

- ・自分で栽培すると盆花を買わなくていいし、収入にもつながる。また栽培したい。
- ・草丈を伸ばすことと、製品率の向上が課題となった。今年も講習会に参加して勉強したい。

## 阿賀野市園芸品目ガイド

阿賀野市農業振興協議会では、既存産地の維持拡大と新規生産者の参入を目的に、園芸おすすめ22品目について記載した「阿賀野市園芸品目ガイド」を作成しています。阿賀野市ホームページに掲載していますので、右の二次元コードからご覧ください。



## 阿賀野市のホームページからもご覧いただけます！

阿賀野市 園芸情報

検索

もしくは、二次元コードを読み取ってください。

